



## 平成27年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年7月30日

上場取引所 東

上場会社名 デジタルアーツ株式会社

コード番号 2326 URL <http://www.dai.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 道具 登志夫

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 総務人事部長

(氏名) 大垣 憲之

TEL 03-5220-1160

四半期報告書提出予定日 平成26年8月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年3月期第1四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	673	3.5	35	108.3	35	79.2	16	33.9
26年3月期第1四半期	650	14.0	17	660.1	20	496.8	11	489.2

(注) 包括利益 27年3月期第1四半期 16百万円 (34.5%) 26年3月期第1四半期 11百万円 (489.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第1四半期	1.15	1.15
26年3月期第1四半期	0.87	0.86

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第1四半期	4,818	3,837	77.8
26年3月期	4,873	3,876	77.8

(参考) 自己資本 27年3月期第1四半期 3,749百万円 26年3月期 3,789百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	4.00	—	4.00	8.00
27年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期(予想)	—	5.00	—	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,629	10.0	334	30.4	336	29.3	201	28.0	14.51
通期	3,330	10.0	767	17.5	770	16.7	461	15.4	33.22

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

詳細については、四半期決算短信(添付資料)3ページの「2.サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご参照ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、四半期決算短信(添付資料)3ページの「2.サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご参照ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期1Q	14,133,000 株	26年3月期	14,133,000 株
27年3月期1Q	252,200 株	26年3月期	252,200 株
27年3月期1Q	13,880,800 株	26年3月期1Q	13,839,140 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予想が含まれており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、世界経済・競合状況・為替・金利の変動等もかかわるリスクや不安定要因により、実際の業績が記載の予想数値と大幅に異なる可能性があります。

なお、業績予想に関する事項は、四半期決算短信(添付資料)3ページの「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

当社ホームページに掲載しております。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(平成26年4月1日～平成26年6月30日)における当社グループを取り巻く経営環境は、政府の経済対策を背景に、緩やかな成長基調の中で推移いたしました。当社グループの属するセキュリティ業界におきましては、前会計年度のWindows XPのサポート終了に伴うIT投資のハードウェア投資への偏りも落ち着きを見せ始め、クラウドサービス利用、スマートフォンやタブレット等のモバイル端末の普及及び個人情報等の重要情報漏えい対策への需要が高まってきております。このような状況の下、当社グループでは、Webアプリケーション制御を実現したWebフィルタリングソフト「i-FILTER」Ver. 9(サーバー版)、Webアクセスの可視化機能を強化した「i-FILTER ブラウザー&クラウド」Ver. 3.5(モバイル端末版)、クラウドメールに対応したメールフィルタリングソフト「m-FILTER」Ver. 4(サーバー版)並びに処理速度の向上やモバイル端末からの閲覧を可能としたファイル暗号化・追跡ソリューション「FinalCode」Ver. 4.1を当第1四半期連結累計期間にリリースし、販売を推進いたしました。また、海外において「FinalCode」の販売に向け、米国に子会社を設立し活動を開始いたしました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間は、企業向け市場の売上が順調に推移したこともあり、売上高は、673,013千円(前年同期比103.5%)となりました。また、売上原価は228,482千円(前年同期比113.4%)、販売費及び一般管理費は408,575千円(前年同期比94.7%)となり、概ね計画通りに推移いたしました。この結果、営業利益は35,955千円(前年同期比208.3%)、経常利益は35,888千円(前年同期比179.2%)、四半期純利益は16,026千円(前年同期比133.9%)となり、堅調に推移いたしました。

各市場の業績は、次の通りです。

#### 企業向け市場

主力製品である「i-FILTER」並びに「m-FILTER」は、クラウドサービス需要の継続やモバイル端末利用が進んだことにより、クラウド版やモバイル端末版の販売が順調に推移いたしました。特に、モバイル端末版の「i-FILTER ブラウザー&クラウド」は、セキュリティポリシーの厳しい金融・証券・保険業といったお客様にもご利用いただき、平成26年5月末時点で10万ライセンスを超え、着実に成長しております。サーバー版の「i-FILTER」Ver. 9は、Webアプリケーション制御に加え、従来オプション製品であった「SSL Adapter」並びに「Log Search」を標準搭載し、新たな価格体系にて既存および新規のお客様に対して販売を開始いたしました。また、Webアクセスの可視化・高効率化を実現するアプライアンス製品「D-SPA」は、前期に引き続き販売が順調に推移いたしました。また、「FinalCode」は、昨今の情報漏えい防止対策ニーズの高まりもあり、前期よりテスト導入をいただいている潜在的なお客様への販売が徐々に進み始めました。

これらの結果、企業向け市場の売上高は、380,146千円(前年同期比114.5%)となりました。

#### 公共向け市場

公共向け市場は、第1四半期連結累計期間は他の四半期に比べ需要が減少する傾向にあります。そうした中、サーバー版の「i-FILTER」の販売を推進しました。その結果、官公庁における販売は進んだものの、前年同期における文教向けの複数のおもった受注の影響により、前期に比較して販売が減少しました。一方、「m-FILTER」は、公共団体での導入が進み、堅調に販売が推移いたしました。「D-SPA」などのその他の製品は、概ね前年同期並みの販売で推移いたしました。

これらの結果、公共向け市場の売上高は、207,742千円(前年同期比95.8%)となりました。

#### 家庭向け市場

スマートフォン向けフィルタリングソフト「i-フィルター」は、OEM提供による販売は順調に推移しましたが、前期に店頭での販売施策を見直し収益性改善を図った結果、販売は減少しました。また、パソコン向け「i-フィルター」は、小規模事業者を含めフィルタリングサービスを提供していた一部ISPによるサービス提供の終了もあり、販売が減少しました。これらの減収は、平成26年5月9日公表の業績予想に織り込んでおり、自治体や教育機関と連携した保護者や青少年向けの啓発活動、さらに多様化するインターネット利用端末への搭載を推進するための提案活動を行い、「i-フィルター」の一層の需要喚起に努めました。

これらの結果、家庭向け市場の売上高は、85,125千円(前年同期比83.9%)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における資産は、売掛金の減少等により、前連結会計年度末に比べ55,103千円減少し、4,818,284千円となりました。

負債は、未払費用、未払金等が増加したものの、税金の納付等により、前連結会計年度末に比べ15,972千円減少し、980,915千円となりました。

純資産は、四半期純利益を計上したものの、配当の支払い等により、前連結会計年度末に比べ39,130千円減少し、3,837,368千円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間の業績は概ね順調に推移しており、通期の連結業績見通しにつきましては、平成26年5月9日公表いたしました業績見通しと変更はございません。

なお、業績見通しにつきましては、本資料の発表日において入手可能な情報に基づき当社で判断したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想値と異なる場合があります。今後重要な変化がある場合には、適切に開示してまいります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,155,787	2,278,401
売掛金	814,636	645,402
有価証券	401,458	401,135
製品	6,770	6,434
繰延税金資産	60,726	60,726
その他	58,135	70,523
流動資産合計	3,497,513	3,462,623
固定資産		
有形固定資産	127,329	119,450
無形固定資産		
ソフトウェア	755,168	860,778
その他	133,285	18,922
無形固定資産合計	888,453	879,700
投資その他の資産	360,090	356,509
固定資産合計	1,375,873	1,355,660
資産合計	4,873,387	4,818,284
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	6,911	294
未払法人税等	181,574	23,393
賞与引当金	99,398	54,196
前受金	476,397	502,401
その他	190,138	358,054
流動負債合計	954,420	938,340
固定負債		
資産除去債務	41,933	42,040
その他	535	535
固定負債合計	42,468	42,575
負債合計	996,888	980,915
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	713,590	713,590
資本剰余金	732,237	732,237
利益剰余金	2,490,168	2,450,671
自己株式	△146,860	△146,860
株主資本合計	3,789,135	3,749,639
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	-	76
その他の包括利益累計額合計	-	76
新株予約権	87,362	87,653
純資産合計	3,876,498	3,837,368
負債純資産合計	4,873,387	4,818,284

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
売上高	650,318	673,013
売上原価	201,516	228,482
売上総利益	448,802	444,531
販売費及び一般管理費	431,540	408,575
営業利益	17,262	35,955
営業外収益		
受取利息	616	624
受取手数料	74	72
為替差益	2,647	-
雑収入	10	124
営業外収益合計	3,348	821
営業外費用		
株式交付費	437	-
消費税等差額	151	-
為替差損	-	889
営業外費用合計	588	889
経常利益	20,021	35,888
特別利益		
新株予約権戻入益	132	37
特別利益合計	132	37
特別損失		
固定資産除却損	-	-
特別損失合計	-	-
税金等調整前四半期純利益	20,153	35,925
法人税等	8,180	19,899
少数株主損益調整前四半期純利益	11,973	16,026
四半期純利益	11,973	16,026

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	11,973	16,026
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	-	76
その他の包括利益合計	-	76
四半期包括利益	11,973	16,102
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	11,973	16,102

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。